

兵庫県LCCAC 活動報告

令和5年9月5日（火）@近畿広域協議会

兵庫県における適応策の推進

- ◆ 温室効果ガスの排出を抑制する「削減策」（「緩和策」）を基本としながら、気候変動影響などの情報提供や気候変動に関する「適応策」の取組を一体的に推進
- ◆ 「兵庫県地球温暖化対策推進計画」（R4.3改定）を、気候変動適応法に基づく「気候変動適応計画」として位置付け

【適応策推進の3方針】

適応策の総合的かつ計画的な推進を図るために3つの方針を策定し、この方針を踏まえながら、県民・事業者・団体・行政等多様な主体の参画と協働の下、取組を推進することにより「気候変動に立ち向かうひょうごづくり」を目指す。

方針1 ひょうごの多様性を活かした気候変動適応を推進

県は、地域特性を活かした適応策を推進。また、気候変動影響を機会と捉え、新たな地域づくりや事業展開を推進

方針2 県民・事業者・団体・行政等が危機感を持ち、ともに気候変動適応に取り組む

県、市町等の行政・県民・事業者・団体は、お互いに情報を共有し、適応策に取り組む。

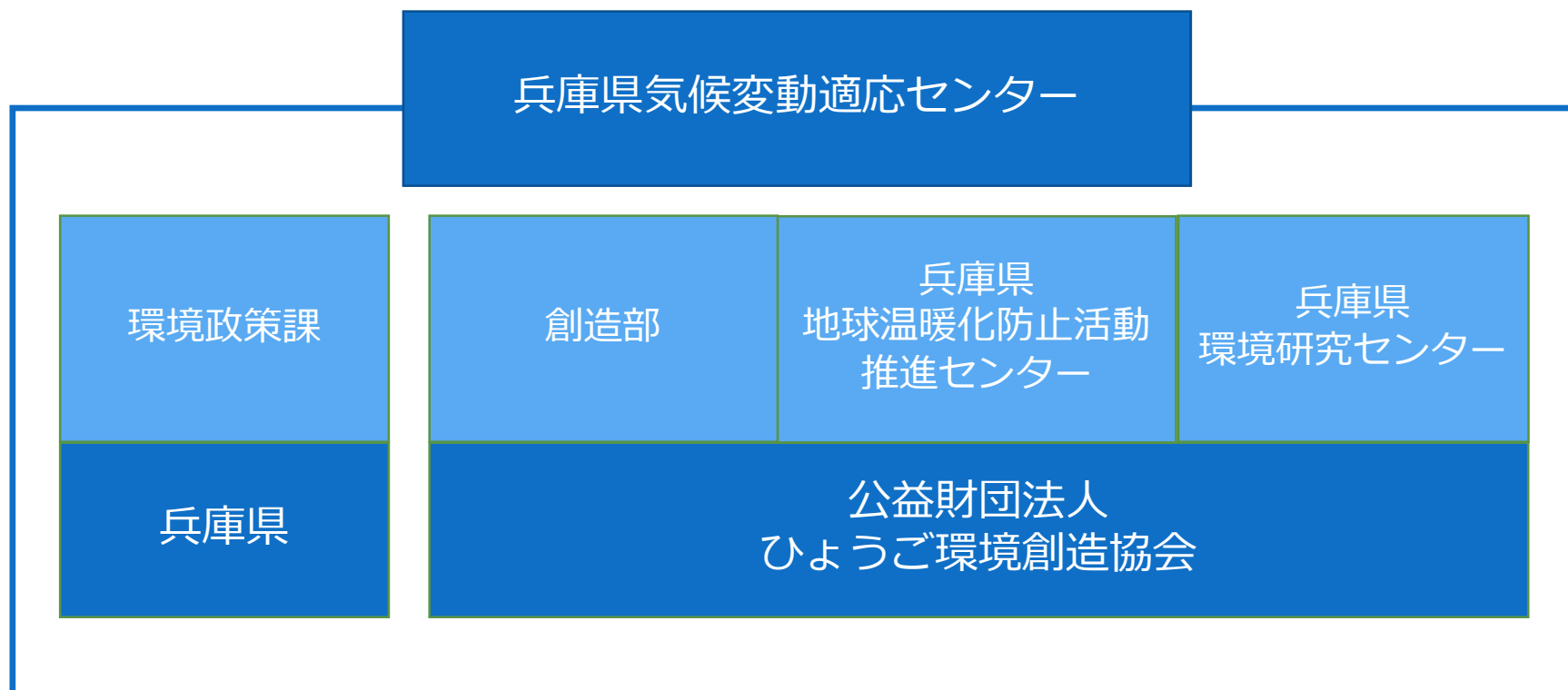
方針3 情報基盤を整備し、あらゆる関連施策に気候変動適応を組み込む

県は、公益財団法人ひょうご環境創造協会と協調して、「兵庫県気候変動適応センター」を設置。適応策に活用

兵庫県気候変動適応センター

R3年4月1日

兵庫県と公益財団法人ひょうご環境創造協会が協調して設置



R4年度の活動①

R4年10月22日 地球温暖化対策・気候変動適応フォーラムの開催

生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）のアプローチから、ぼうさいこくたい2022のセッションに出展

兵庫の豊かな生態系が有する防災・減災の機能を発揮させることで自然災害リスクを軽減させ、持続可能な地域社会づくり、様々な団体間の連携による防災の工場への取組について考えるフォーラムを実施

➤ 内容

兵庫県内における、防災の視点を取入れた生態系管理についての実例紹介と、今後の取組の方向性についてのディスカッションを実施

➤ 開催形態

ハイブリッド形式

詳しくは↓

<http://www.eco-hyogo.jp/past-events/r4-kiko-hendo/>

R4年度の活動②

R4年11月16日 民間事業者向け「気候変動適応セミナー」の開催

今後高まる恐れのある気候変動のリスクにいち早く備えて適応することが課題となっている今、気候リスクへの対応や持続的なビジネス展開について考える民間事業者向けのセミナーを実施

- 内容
専門家による「企業の気候変動対策」や「気候変動の現状と事業者の適応」についての講演と事業者の適応事例の紹介
- 開催形態
オンライン

詳しくは↓

<http://www.eco-hyogo.jp/past-events/2022-jigyosha-tekiou/>

普及・啓発の課題

- 県民向けフォーラムや事業者向けセミナーを毎年度開催しているが、それ以外の普及・啓発を実施できていない。
- 「緩和策」への機運が上昇している状況で、「適応策」に対する関心が横ばい若しくは低下している。

R5年度の活動予定

- 気候変動適応フォーラム（R5年10月）開催予定
- 事業者向け気候変動適応セミナー（R5年11月）開催予定



ご静聴ありがとうございました。

